

科目ナンバー： BC2112

授業コード： 2230201100

講義科目名称： 成人看護学Ⅲ

英文科目名称： Adult Health Nursing Ⅲ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員			
石田和子、◎樺澤三奈子、小林綾子、石岡幸恵、坂田智佳子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎樺澤 三奈子	新潟県立看護大学	318	minako-k@niigata-cn.ac.jp
	石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp
	小林 綾子	新潟県立看護大学	205	otsuka@niigata-cn.ac.jp
	石岡 幸恵	新潟県立看護大学	310	ishioka@niigata-cn.ac.jp
	坂田 智佳子	新潟県立看護大学	共同研究室 3	sakata@niigata-cn.ac.jp
	実務経験のある教員が担当します。			
	【本学の科目区分】 専門科目			
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程				
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ○ ○				

到達目標	1. 慢性的な経過をたどる健康障害をもつ人のセルフケア能力を高める看護方法を説明できる。 2. 緩和ケアを必要とする人々の全人的苦痛、および対象への看護方法を説明できる。			
授業概要	慢性的な経過をたどる疾患をもつ成人期にある人々ならびに緩和ケアを必要とする人々を総合的にとらえ、健康レベルに応じた看護を実施するための基礎的能力を養う。慢性期にある人々の代表的な健康障害への看護や緩和ケアにおける症状マネジメントを取りあげ、よりよいQOLの実現に向けた看護アプローチを学ぶ。			
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：がんの集学的治療を行う患者と家族の看護 学修内容：ガイダンス がん放射線療法を受ける患者と家族の看護 事前学修：テキスト「成人看護学 慢性期看護論」p476からp488を読む。 事後学修：事後学修課題に取り組み、どこカレに掲載した課題の解答と解説を読んで復習する。 備考：樺澤 授業に授業にテキスト「成人看護学 慢性期看護論」を持参する。		
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：がんの集学的治療を行う患者と家族の看護 学修内容：がん薬物療法を受けるがん患者と家族の看護 事前学修：テキスト「成人看護学 慢性期看護論」p458からp468を読む。 事後学修：授業時に提示する。 備考：石田 授業にテキスト「成人看護学 慢性期看護論」を持参する。		
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：慢性疾患により生活調整を継続する患者と家族の看護 学修内容：糖尿病患者と家族の看護 事前学修：テキスト「慢性期看護論」のp300からp312を読む。 事後学修：授業内で配布する看護師国家試験の過去問を解答する。正答だけでなく誤りについても根拠づけて説明できるように復習する。 備考：小林		
	4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：慢性疾患により生活調整を継続する患者と家族の看護 学修内容：腎不全患者と家族の看護（人工透析） 事前学修：テキスト「慢性期看護論」のp314からp330を読む。 事後学修：授業内で配布する看護師国家試験の過去問を解答する。正答だけでなく誤りについても根拠づけて説明できるように復習する。		

	5	備考： 小林 授業内容 授業形態：講義 学修課題：リハビリテーションによる生活の再構築を必要とする患者と家族の看護 学修内容：脳血管疾患患者と家族の看護 事前学修：テキスト「慢性期看護論」のp232からp246を読む。 事後学修：授業内で配布する看護師国家試験の過去問を解答する。正答だけでなく誤りについても根拠づけて説明できるように復習する。
	6	備考： 小林 授業内容 授業形態：講義 学修課題：リハビリテーションによる生活の再構築を必要とする患者と家族の看護 学修内容：慢性呼吸不全患者と家族の看護（HOT導入） 事前学修：テキスト「慢性期看護論」のp174からp196を読む。 事後学修：：COPD患者ならびにHOT導入患者に対するアセスメントやケアについて、病態メカニズムをはじめとする根拠と関連付けてまとめておく。力試しテストは正答だけでなく誤りについても根拠づけて説明できるように復習する。
	7	備考： 坂田 授業内容 授業形態：講義 学修課題：リハビリテーションによる生活の再構築を必要とする患者と家族の看護 学修内容：慢性心不全患者と家族の看護 事前学修：テキスト「慢性期看護論」p207からp229を読む。 事後学修：形態機能学Ⅱ血液の循環とその調節、病態機能学Ⅱ循環器疾患など、心臓や心不全に関連する既習内容について復習する。慢性心不全患者に対するアセスメントやケアについて病態メカニズムをはじめとする根拠と関連付けてまとめておく。授業中に示す課題を授業内容と関連づけて学修する。力試しテストは正答だけでなく誤りについても根拠づけて説明できるように復習する。
	8	備考： 石岡 授業内容 授業形態：講義 学修課題：緩和ケアを必要とする患者と家族の看護 学修内容：がん性疼痛をもつ患者と家族の看護 事前学修：成人看護学Ⅰ終末期看護について復習する。 事後学修：緩和ケアを必要とする患者の全人的苦痛のアセスメントとケアについて根拠づけて説明できるように復習する。授業中に示す課題を授業内容と関連づけて学修する。力試しテストは正答だけでなく誤りについても根拠づけて説明できるように復習する。 備考： 石岡
評価方法、評価基準		・到達目標1～2に対して、筆記試験 100%（期末試験）
必携図書		・鈴木志津枝他，編：慢性期看護論，ヌーヴェルヒロカワ．「前年度購入済み教科書」
参考図書・資料等		・系統看護学講座 成人看護学[2][3][4][5][6][8][11][13][14]、緩和ケア（いずれも医学書院） ・鈴木久美他，編：看護学テキストNiCE 成人看護学 慢性期看護，南江堂． ・梅田 恵他，編：看護学テキストNiCE 緩和ケア，南江堂．他、適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール		・講義日程や事前準備、試験等に関することはどこカレ内の学生掲示板で周知する。 ・授業計画に沿って必携図書に目を通し、自己学習したうえで授業に臨む。 ・私語など、他の学生の受講に支障となる行為は厳禁とする。 ・出席日数が規定に満たない場合は評価対象としない。20分以上の遅刻は欠席扱いとする。 ・欠席、追試、再試については、それぞれ学生便覧に従って手続を行う。
教員からのメッセージ		患者を全人的にとらえる視点、病態・治療をふまえた看護を理解する上で、成人看護学Ⅰ・Ⅱ、形態機能学・栄養学・臨床生化学・臨床薬理学・臨床病態学などで学んだ知識が役立つ。これらと関連付けながら授業に臨むことを期待する。 この科目で学修する知識を演習や実習での看護実践に活用できるよう、必携図書および参考図書を積極的に読み、さらに理解を深めてほしい。
オフィスアワー		事前にメールで連絡要